

かっこんとう
漢方薬(葛根湯)と西洋薬(総合感冒薬)、どっちが効くの?

かぜの超初期治療の研究に参加していただけますか?

“かぜかな?” と思ったときにおこしてください

かぜの症状が本格的になる前

参加者には、薬を無料でお渡しします

実施場所: 京大保健診療所
(カンフォーラのとなり)



研究の目的: 漢方薬(葛根湯)と西洋薬(総合感冒薬)で、かぜの経過に違いがあるかを調べます。

- 参加条件: 1. 咽喉^{のど}の違和感が、当日もしくはその前日からある、18歳~65歳の方
2. かぜの症状は、ごく軽いものである
3. 3年以内に1回以上、かぜをひいたことがある
(健康状態によっては、ご参加いただけない場合があります。)

研究方法: くじ引きの結果に従って、漢方薬(葛根湯)か西洋薬(総合感冒薬)の一方を服用してもらい、症状の変化を1週間にわたって“かぜ日記”に記録していただきます。

- その他: ・診察や検査が必要になった場合には、通常の保険診療を受けていただけます。
・研究に参加された方に、薄謝(図書カード2000円)を進呈します。

研究事務局: 京都大学大学院医学研究科 予防医療学分野(京都大学保健管理センター)